

【事業名】

鴨川におけるオオバナミズキンバイの駆除対策事業（京都府京都市）

【団体名】 京都府

事業の背景・目的

京都府では、平成29年頃より特定外来生物オオバナミズキンバイが鴨川において確認され、平成30年度より、侵入初期段階における防除を開始し、生育状況調査や事業者による駆除事業及び市民団体との協働による駆除活動を実施してきた。同河川流域には、琵琶湖の固有種や、かつて淀川水系に存在していた巨椋池の遺存種を含む、固有性の高い生物相が形成されており、本種が増殖することで、鴨川流域における生態系や人の生活への被害が顕在化する恐れがあるため、早急な対策が求められる。

事業の内容

鴨川におけるオオバナミズキンバイ生育状況把握及びそれに基づいた効果的・効率的な広域的対策を実施した。また、陸生化した群落に対して有効な駆除手法を検討し、試験的に実施した。

事業① 鴨川におけるオオバナミズキンバイ生育状況把握調査事業

- ・群落毎に地点情報、面積、生育状態（陸生もしくは水生）等を調査した。
- ・生育面積が大幅に減少していた。
- ・群落の約30%が完全に陸生状態であることがわかった。



(写真) 完全に陸生状態の
オオバナミズキンバイ

事業② 鴨川におけるオオバナミズキンバイ駆除事業

- ・陸生状態の群落に対して試験的にジェットポンプの流水を使用した駆除を実施した。
- ・完全に陸生状態の群落についても効率的に除去できることが確認された。



(写真) ジェットポンプを
使用した駆除作業

得られた成果

本年度試験的に実施したジェットポンプを使用した駆除方法の有効性については、駆除地点を来年度モニタリングし、本種の回復状況等を検証した上で、評価する必要がある。

また、本年度の生育状況把握調査により、鴨川における本種の生育面積に大幅な減少が見られたが、本種は非常に繁殖力・再生力が強いいため、今後も油断することなく、引き続き生育状況把握調査を実施し、これまでのデータと比較することで鴨川における本種の生育パターンを把握し、有効な広域的対策を専門家の意見も踏まえて検討したい。

さらに次年度は、上記に加え地元市民団体等と協働した駆除活動を実施し、府民に外来生物問題について広く周知する機会としたい。